

小学校 中 学年< 3・4ー (8) >

学 年	3年 4年	時 間	国語科 「防災川柳をよもう」	時 期	9月、10月、(1月) 防災行事等と関連させて	時 数	1時間(45分)
目 標	被災者の体験談や防災関係の人の話を聞くことにより防災意識を高め、五七五のリズムに合わせて自分の気持ちを表現することができる。						
資料・準備	文部科学省「地震を知ろう」(表紙・9・10・11ページ抜粋)の事前配布と家庭学習(宿題)、ワークシート、GT(被災者や防災関係の人)と事前に打ち合わせ。						

展開

	学習活動と内容	主な発問・指示(◇)	指導上の留意点	支援(○) 評価(☆)
導 入	1	ゲストティーチャーの方の話を聞き、防災川柳をよむことを知る。 ◇GTのみなさんを紹介します。 ◇今日は、GTのみなさんの話を聞いて、五七五のリズムで川柳をよんでみましょう。	○話を聞いて感じたことを川柳に表すことを知らせる。 ○GTの紹介を簡単に行う。	
展 開	2	GT(被災者や防災関係の人)の話を聞く。 ◇GTのみなさんのお話の中で、大事な言葉、キーワードをワークシートにメモしながらききましょう。	○ワークシートを配布し、メモをとりながら聞かせる。	
	3	資料「地震を知ろう」(表紙・9・10・11ページを抜粋)を見て川柳に使えるようなキーワードを確認する。 ◇前もって読んできた「地震を知ろう」をもう一度見て、川柳に使えるようなキーワードを書き出しましょう。	○文科省のパンフレット「地震を知ろう」(表紙・9・10・11ページ抜粋)を見ながら、川柳に使えるようなキーワードを確認させる。	
	4	班に分かれて、川柳をよむ。 ◇班になって、川柳を作ってみましょう。GTの人にも各班に入ってくださいますので、教えてもらいたいことがあったら、遠慮しないで尋ねましょう。それでは、始めてください。	○GTの人にも班に入ってください、助言をいただく。 ○五七五のリズムを考えることが難しい児童には、確認したキーワードを使ってリズムを作れるように支援する。 ○川柳が何句かできた児童には、その句をどのような気持ちでよんだのか考え、作文にするよう声かけをする。  ☆キーワードを使い、五七五のリズムで川柳をよむことができる。	
ま と め	5	できた川柳を発表する。 ◇作った川柳の中から、「これが一番いいぞ」と思う一句をよんでみてください(発表してください)。	○一人が一句発表するように促す。また、どのような気持ちでその川柳をよんだのか、言える児童には発表させる。 ○一句一句ほめる。 ○時間が少なければ、数名に発表させ、今日の帰りの会の時(または、明日の朝読書の時間に)、全員に発表してもらうことを伝える。	

★ 授業後の活動として、作成した川柳を、学級だより等で紹介するなど、家庭啓発に役立てる。

関連する 教科・領域等	学校教育活動全般、地域行事等
協力団体	地域の被災者、防災関係者(各市町村)、建築士会、ボランティア経験者、日野ボランティアネットワーク等
題材・指導案等	平成23年度鳥取型防災教育モデル校(鳥取市立明德小学校)の実践を参考に作成